



平成26年度 市政アンケートの結果概要

昨年8月に、市民の皆様にご協力いただき、市政各般にわたる48回目的の市政アンケートを実施しました。その結果概要を報告します。

①碧南市の住みごころについて

「住みやすい・どちらかといえば住みやすい」のポイントが83・0%で5・5%増加し、「住みにくい・どちらかといえば住みにくい」が8・3%で4・6%減少しました。

項目	H26	対前年比
住みやすい	37.6	3.8
どちらかといえば住みやすい	45.4	1.7
どちらかといえば住みにくい	6.7	-2.9
住みにくい	1.6	-1.7
わからない	6.2	-2.8
無回答	2.5	1.8

②各分野の施策の満足度

「満足」から「ふつう」までのポイントが50%未満の分野は、昨年同様0でした。昨年と比較して「満足」「ほぼ満足」のポイントは⑩公園が

30・8%で6・5%、⑪緑化が26・8%で4・3%など、18分野中15分野で増加しました。逆に「不満」「やや不満」のポイントは②保健・医療が19・9%で1・4%の増となりました。

③市役所・職員に対する満足度

職員対応については、昨年と比較して「満足・ほぼ満足」が40・8%で1・4%増加しましたが、「不満・やや不満」も16・5%で2・2%増加しました。

項目	H26	対前年比
満足	16.6	2.4
ほぼ満足	24.2	-1.0
ふつう	33.7	-3.9
やや不満	11.0	0.9
不満	5.5	1.3
わからない	7.2	-0.3
無回答	1.8	0.6

また、市役所・公共施設の雰囲気・環境については、「満足・ほぼ満足」が44・5%で2・5%減少し、「不満・やや不満」が6・8%で1・1%増加する結果となりました。

項目	H26	対前年比
満足	17.7	-0.5
ほぼ満足	26.8	-2.0
ふつう	40.8	1.8
やや不満	5.6	0.9
不満	1.2	0.2
わからない	5.7	-0.4
無回答	2.2	0.0

碧南市としては臨時職員も含め、市民満足度（C・S）とコストパフォーマンス（C・P）の最大化を目指し、日々努力していますが、気を緩めず、今後ともしっかり頑張ります。

市国民健康保険運営協議会 委員の公募

問合せ 国保年金課国保係

市では、国民健康保険事業の運営に関する事項を審議するため、被保険者を代表する委員、療養機関を代表する委員および公益団体を代表する委員の計15人で市国民健康保険運営協議会を組織しています。

被保険者の皆さんから広くご意見・ご提言をいただくため、協議会委員を公募します。

対象 次のすべてを満たす人

- ・市国民健康保険の被保険者で、任期中に引き続き被保険者である見込みの人
- ・平成27年4月1日現在、20歳以上の人
- ・国保税を滞納していない世帯に属している
- ・国・地方公共団体の議員・常勤の公務員でない
- ・年間3回程度開催する協議会（平日昼間）に出席できる

募集人員 2人程度（書類審査あり）

任期 平成27年4月1日(水)～29年3月31日(金)

報酬 協議会への出席ごとに日額7,000円

申込み 3月2日(月)～16日(月)8時30分～17時15分に

応募用紙を持参で国保年金課国保係

※応募用紙は国保年金課窓口または市ホームページで入手できます。

3月1日(日)～7日(土)は 子どもの予防接種週間

この期間は、4月からの入園、入学に備えて保護者の予防接種への関心を高めるとともに、接種漏れを見直すのに最適な時期として、予防接種率の向上を図ることを目的にしています。

日本は欧米諸国に比べると麻しん（はしか）の予防接種率が低いことが課題となっています。

麻しんは子どもがかかりやすい伝染病のなかでも重症化しやすく、肺炎や脳炎などの重篤な合併症を起こす確率が高い注意すべき病気です。麻しん風しん混合予防接種第1期の対象は1歳以上2歳未満の子です。1歳の誕生日を迎えたら、なるべく早く麻しん風しん混合ワクチン予防接種を受けましょう。

今年度の麻しん風しん混合ワクチン予防接種第2期の対象者は、平成20年4月2日～21年4月1日生まれの子です。まだ受けていない場合は、3月31日(火)までに指定医療機関で接種してください。

問合せ 保健センター ☎(48)3751

